



週報

2017~2018 年度 RI 会長 イアン H. S ライズリー
RI のテーマ 『変化をもたらす』
地区のテーマ 『RI 戦略計画を皆で一緒に実行しよう!!』 ガーナー 細井保雄

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 狭山東武サロン 〒350-1305 狭山市入間川 3-6-14 TEL 04-2954-2511
〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366
<http://www.schuohrc.org> E-mail: schuohrc@pl.s-cat.ne.jp
会長 益子伸明 会長エクト 清水幸彦 副会長 松浦法子 幹事 浜野貴子

第 3 グループ内の例会日] 新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 1150 回 (9 月 19 日)例会の記録

点 鐘 益子伸明会長
合 唱 僕らの生業
第2副SAA 吉松会員 東会員

※出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
32名	30名	87.5 %	87.5 %

会長の時間

益子伸明会長

『9 月 RI 会長のことば

日本遺産について』

【RI 会長からのメッセージ】

イアン H.S.ライズリー 2017-18 年度会長

ロータリー国際大会の最大の魅力は、参加者の多様性にあります。分科会でも、友愛の家でも、食事の席でも、ありとあらゆる民族衣装をまとった世界各地からの参加者が、それこそ世界中の言語で話している光景に出会います。

これほど異なる人びとが、一緒にいても苦にならない、これが国際大会の楽しさであるのはもちろんのこと、この多様性こそ、ロータリーの偉大さの大きな秘密でもあります。

この心温まる地域社会の精神はロータリーの核にあります。同時に、2018 年ロータリー国際大会の開催地であるトロントを定義づけるものでもあります。トロント

は私の大好きな街のひとつです。280 万人の住民の半分は他国出身者で、140 か国語以上の言語を話し、どれだけ忙しくても人助けはするという土地柄です。トロントはきれいで安全で人に温かいだけでなく、オンタリオ湖辺やおいしいレストラン、他では見られないような博物館、それに探索するのも楽しい見どころがたくさんあります。

2018 年国際大会は、これまでで最高の大会になる兆しをすでに見せています。大会委員会とホスト組織委員会は、インスピレーションを高めるような講演や最高のエンターテイメント、ためになる分科会、そして街中でのさまざまな活動を計画しています。トロントには誰もが何かしら楽しめるものがあります。

ジュリエットと私は家族を引き連れてトロントに行く予定ですが、皆さまにもぜひご家族での旅行をお薦めします。早いうちに旅行を計画すれば割引が使えます。割引が適用される早期登録は 12 月 15 日までです(オンライン登録ならさらにお得です)。

トロントはロータリアンを魅了する見どころだらけだといえ、もちろん最大の魅力は国際大会そのものです。ロータリー世界がどんなことをしているのか知り、これからの 1 年に向けてインスピレーションを得て、充電するための、年に 1 度の機会です。詳しくは riconvention.org/ja をご覧ください。2018 年トロント国際大会では、インスピレーションをいたるところで発見できます。以上



【日本遺産(Japan Heritage)について】

(1)我が国の文化・伝統を語るストーリーを認定

「日本遺産(Japan Heritage)」は(地域の歴史的の魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産(Japan Heritage)」として文化庁が認定するものです。

ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

現在54のストーリーが認定。2020年までにおよそ100件を予定。

(2)世界遺産や指定文化財との違い

世界遺産登録や文化財指定は、いずれも登録・指定される文化財(文化遺産)の価値付けを行い、保護を担保することを目的とするものです。

一方で日本遺産は、既存の文化財の価値付けや保全のための新たな規制を図ることを目的としたものではなく、地域に点在する遺産を「面」として活用し、発信することで、地域活性化を図ることを目的としている点に違いがあります。

(3)認定による効果

「日本遺産」に認定されると、認定された当該地域の認知度が高まるとともに、今後、日本遺産を通じた様々な取組を行うことにより、地域住民のアイデンティティの再確認や地域のブランド化等にも貢献し、ひいては地方創生に大いに資するものとなると考えています。

認定に当たって

「日本遺産」として認定するストーリーは次の3点を踏まえた内容とします。

- 1 歴史的経緯や地域の風土に根ざし世代を超えて受け継がれている伝承、風習等を踏まえたストーリーであること。
- 2 ストーリーの中核には地域の魅力として発信する明確なテーマを設定の上、建造物や遺跡・名勝地、祭りなど地域に根ざして継承・保存がなされている文化財にまつわるものが据えられていること。
- 3 単に地域の歴史や文化財の価値を解説するだけのものになっていないこと。日本遺産として認定するストーリーには次の2種類があります。

ストーリーは2種類

ストーリーには次の2種類があります。

- ・単一の市町村内でストーリーが完結する「地域型」
- ・複数の市町村にまたがってストーリー展開「シリアル型(ネットワーク型)」また、ストーリーを語る上で不可欠な文化財群には地域に受け継がれている有形・無形のあらゆる文化財を対象とすることができ、地方指定や未指定の文化財も含めることができますが、国指定・選定文化財を必ず一つは含めることとする必要があります。

行田市「日本遺産」の認定

「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田」

行田市が日本遺産認定の申請をしていた「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田」のストーリーが平成29年4月28日に県内初の「日本遺産」に認定されました。

「認定された行田市のストーリーの概要」

忍城の城下町行田の裏通りを歩くと、時折ミシンの音が響き、土蔵、石蔵、モルタル蔵など多彩な足袋の倉庫「足袋蔵」が姿を現す。行田足袋の始まりは約300年前。武士の妻たちの内職であった行田足袋はやがて名産品として広く知れ渡り、最盛期には全国の約8割の足袋を生産するまでに発展した。それと共に明治時代後半から足袋蔵が次々と建てられていった。今も日本一の足袋生産地として和装文化の足元を支え続ける行田には、多くの足袋蔵等歴史的建築物が残り、趣きある景観を形づくっている。

ストーリーの構成資産

ストーリーの構成資産(文化財)は39件で、内訳は史跡4件(国指定1・県指定2・市指定1)、有形文化財3件(未指定3)、建造物26件(市指定2・国登録5・未指定19)、有形民族文化財2件(国登録1・未指定1)、無形民俗文化財4件(未指定4)となっています。



埼玉古墳群



忍城跡



足袋蔵ギャラリー門

主な構成資産

- ・足袋とくらしの博物館、行田足袋、行田の足袋製造用具及び製品、ゼリーフライ、行田の奈良漬

狭山市では？

狭山市でもし行うのであれば、単独での地域型は難しそうです。

自治体をまたぐシリアル型が考えられますが...

川越市は国指定重要無形民俗文化財の「川越氷川祭の山車行事」が「秩父の夜祭」と「ユネスコ無形文化遺産」に登録されています。

日本全国で54件がすでに登録されています。行田市も登録までに3年掛かっていました。埼玉県に残り1つの枠は残っていますが...

幹事報告

浜野幹事

- ・『青少年奉仕部門第3回オリエンテーション開催のご案内』
- ・『ポリオ撲滅PR 日本スリーデーマーチ』のご案内
- ・10月21日(土)フリーマーケット出店商品の協力願い
- ・11月14日(火)、15日(水)家族同伴親睦旅行回覧
- ・『緊急炉辺会合のお知らせ』
- ・受贈会報 入間RC 新狭山RC 所沢西RC
- ・回覧 (公)米山記念奨学会ハイハイよねやま (医)尚寿会 広報誌 第111号

委員会報告

・R情報・雑誌委員会 菊田委員長

【横書】

- p7 より身近な『友』を目指して
- p14 こうこそ日本へ 共に日本に暮らす仲間として
- p35 心は共に 被災者であり支援者であること
- p42 ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識

【縦書】

- p4 いじめのない社会をめざして
- p9 一騎当千の女性メンバーがひしめく
- p26 カンボジア医療支援プロジェクト



「外来卓話」.....

『視覚障害児者の発達と自立、社会参加支える拠点

塙保己一学園

～塙保己一と盲学校～』

埼玉県立特別支援学校塙保己一学園

校長 佐野貴仁様



1. はじめに 塙保己一学園の紹介

- ・明治41年 川越養寿院で盲児を集めて展示授業を行ったことから始まる
- ・幼稚部、小、中、高等部普通科、専攻科の5つの学部が設置
- ・視覚障害に対応した教育 幼、小、中、高等学校に準じた教育の他、点字に関する活動、歩行に関する活動、視覚活用に関する活動、パソコン等に関する活動等

2. 塙保己一先生について

- ・塙保己一(はなわほきいち)は江戸時代に偉業を成し遂げた埼玉県出身の盲目の国学者。
- ・日本全国に散らばっていた貴重な文献を収集し、版木に残して後世に伝えるという偉業を成し遂げた人物で、渋沢栄一、荻野吟子と並んで、本県の誇る三偉人の一人に挙げられており、ヘレン・ケラーが心の支えにした人物でもある。
- ・延享3年5月5日(1746年)武州児玉郡保木野村(現在の埼玉県本庄市児玉町保木野)に生まれる。5歳の時 疝(かん)の病により視力が落ち、7歳の時に失明する。
- ・15歳の時江戸に行き、雨富検校の門人となる。
- ・34歳の時『群書類従』の編纂を始めるが、実に40年の歳月をかけての大事業であった。これによってわが国の貴重書が散逸から免れ、人々に利用されてきた意義は大きい。
- ・49歳の時 国史・律令の研究機関としての「和学講談書」を現在の千代田区三番町に設立。
- ・生涯をかけた『群書類従』は文政二年(1819)74歳の時完成、すでに進行中の『続群書類従』などの編纂事業のゆくすえを心配しながら、文政四年(1821)9月12日に76歳で逝去。
- ・塙保己一と小笠原諸島、荻野吟子、ヘレン・ケラー、渋沢栄一

3. 塙保己一学園の頑張ってること

- ・「第1回全国盲学校フロアバレーボール大会」優勝！
- ・講演会、弁論大会、音楽活動、英語検定
- ・陸上大会、ゴールボール等
- ・外国との関り
- ・歩行の安全のための点字ブロック理解啓発推進キャンペーン等

4. 特別支援教育からの発信

- ・障害の有無にかかわらず誰もが輝ける社会を
- ・子供の笑顔、保護者との関わり
- ・おわりに

ニコニコボックス

益子君 埼玉県立特別支援学校塙保己一学園校長 佐野貴仁様、本日の卓話楽しみにしていました。宜しくお願いします。

浜野君 特別支援学校塙保己一学園校長佐野貴仁様、ようこそお出で下さいました。卓話楽しみにしていました。宜しくお願い致します。

江原君 特別支援学校塙保己一学園校長佐野貴仁様、お忙しいなか、お出で下さりまして本当に有難うございます。本日の卓話を楽しみにしております。宜しくお願い致します。

小島君 特別支援学校塙保己一学園校長 佐野貴仁様、ようこそお出でいただきました。お話し楽しみにしていました。宜しくお願い致します。

松浦君 特別支援学校塙保己一学園校長 佐野貴仁様ようこそいらっしゃいました。宜しくお願い致します。

佐藤君 台風も去り、秋模様になってきましたね。本日の外来卓話塙保己一学園校長佐野貴仁様、ようこそお越し下さいました。大いに盲学校の宣伝をして下さい。宜しくお願い致します。

清水君 本日のお客様 特別支援学校塙保己一学園校長 佐野貴仁先生、お忙しい中お越し頂き有難うございます。卓話宜しくお願い致します。



◆次の例会

10月 3日(火) 12:30～13:30

第二副SAA : 石川会員 稲見会員

クラブ協議会 : ガバナー補佐訪問